

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市文化センター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区根岸1丁目7番1号</p> <p>②施設の設置目的 市民の文化の向上と福祉の増進を図る</p> <p>③施設の概要 音楽、演劇、舞踊、古典芸能などの芸術的な分野をはじめ、展示会、パーティー、その他の集会に幅広くご利用できる。 ●大ホール(2,006席) ●小ホール(340席) ●展示室 ●集会室(5室) ●和室(3室) ●茶室 ●多目的ホール ●練習室(2室) ●リハーサル室(2室) ●駐車場(137台)等</p>
(3)指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成30年度282,169千円、令和元年度269,007千円、令和2年度336,191千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規利用受付の中止、利用人数の制限及び利用中止時の全額還付・変更の拡大受付を実施した期間あり</p> <p>◇利用状況 ・利用者数180,296人(前年度287,204人) ・利用率34%(前年度64%) ・稼働率21%(前年度47%)</p> <p>◇業務実施状況 ・施設の利用許可、利用料金の収受・還付 ・施設、附属設備の維持管理 ・文化芸術事業の実施</p> <p>②維持管理業務の状況 ・施設管理業務(設備・警備・清掃・舞台管理等)〔毎日〕 ・塵芥収集運搬処理業務〔可燃:週2回、資源:週1回〕 ・産業廃棄物収集運搬処理業務〔年3回〕 ・機械警備業務〔毎日〕 ・自家用電気工作物保安管理業務〔年12回〕 ・空調機保守点検業務 ・消防設備保守点検業務〔年2回〕 ・舞台機構設備保守点検業務〔年4回〕 ・舞台照明設備保守点検業務〔年3回〕 ・舞台音響設備保守点検業務〔年2回〕 ・エレベーター保守点検業務〔年4回〕 ・駐車場管制器設備保守点検業務〔年2回〕 ・自動ドア保守点検業務〔年3回〕 ・電話設備保守点検業務〔年4回〕 ・ITV設備定期保守点検業務〔年1回〕</p>

	<ul style="list-style-type: none">・ホール映写機定期保守点検業務〔年1回〕・客席椅子定期保守点検業務〔年1回〕・スライディングウォール定期保守点検業務〔年1回〕・トイレ消臭器等交換業務〔年6回〕・ヤマハピアノ定期保守点検業務〔年3回〕・スタインウェイピアノ・ポジティブオルガン定期保守点検業務〔年1回〕・チェンバロ定期保守点検業務〔年1回〕・植栽管理業務・公共建築物(設備)定期点検業務〔年1回〕・防火設備点検業務〔年1回〕・非常用発電設備保守点検業務〔年2回〕・ボイラー設備点検〔年2回〕 <p>③その他の業務(自主事業)</p> <p>東京フィル＆宮川彬良の「ブラボー！名曲アカデミー等、主催31事業、共催5事業の計36事業を開催した。また新型コロナウイルス感染拡大防止のため主催15事業、共催17事業を開催中止とした。</p>																								
(6) 収支状況	<p>①収入</p> <table><tr><td>・指定管理料</td><td>336,191千円</td><td>(前年度 269,007千円)</td></tr><tr><td>・利用料金収入</td><td>41,942千円</td><td>(前年度 75,543千円)</td></tr><tr><td>・文化事業収入</td><td>29,374千円</td><td>(前年度 27,978千円)</td></tr><tr><td>・その他収入</td><td>51千円</td><td>(前年度 40千円)</td></tr></table> <p>②支出</p> <table><tr><td>・人件費</td><td>102,481千円</td><td>(前年度 101,456千円)</td></tr><tr><td>・事務費</td><td>2,944千円</td><td>(前年度 2,828千円)</td></tr><tr><td>・施設管理費</td><td>229,042千円</td><td>(前年度 196,058千円)</td></tr><tr><td>・文化事業費</td><td>73,091円</td><td>(前年度 59,734千円)</td></tr></table>	・指定管理料	336,191千円	(前年度 269,007千円)	・利用料金収入	41,942千円	(前年度 75,543千円)	・文化事業収入	29,374千円	(前年度 27,978千円)	・その他収入	51千円	(前年度 40千円)	・人件費	102,481千円	(前年度 101,456千円)	・事務費	2,944千円	(前年度 2,828千円)	・施設管理費	229,042千円	(前年度 196,058千円)	・文化事業費	73,091円	(前年度 59,734千円)
・指定管理料	336,191千円	(前年度 269,007千円)																							
・利用料金収入	41,942千円	(前年度 75,543千円)																							
・文化事業収入	29,374千円	(前年度 27,978千円)																							
・その他収入	51千円	(前年度 40千円)																							
・人件費	102,481千円	(前年度 101,456千円)																							
・事務費	2,944千円	(前年度 2,828千円)																							
・施設管理費	229,042千円	(前年度 196,058千円)																							
・文化事業費	73,091円	(前年度 59,734千円)																							
(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への 対応	<p>・「コロナ対策について2F事務所に仕切りがあり安心しました、1F受付にも仕切りがあったら良いと思います」との意見を受け、1Fにも仕切りを設置した。</p> <p>・「ロビー受付でマスクなしで話す女性がいたのでマスク着用を促すボードや、感染予防のシート等の貼紙をしてほしい」とのご意見を受け、早急にマスク着用を促すボードを設置した。</p> <p>・「1F自販機横のウォータークーラーは背が低い人には利用しづらい」とのご意見を受け、踏み台を設置した。</p> <p>・「避難所としての文化センターに近隣高校でコロナ陽性者が発生している中、多くの高校生が来館していました。来訪者からコロナ陽性者が出て避難所として開放するつもりなののでしょうか？不安でいっぱいです。」のご意見に対して、利用される方々へマスクの着用、アルコール消毒の徹底等、様々な感染対策を講じたうえで利用いただいていることを説明した。</p>																								
(8) その他																									

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
管理運営体制、緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none">・消防訓練を年2回(6月・12月)実施し、防災に対する意識向上に努めた。・管理業務が適切に行えているかどうかを把握するため「利用者アンケート調査」を実施した。・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として館内環境の整備や利用者への周知等を徹底した。また、さいたま市の指示に基づき、館内の全施設における新規利用受付の中止、利用人数の制限及び利用中止時の全額還付・変更の拡大受付を状況に応じて実施した。
広報・利用推進計画	<ul style="list-style-type: none">・事業団情報誌「SaCLa」の配布や事業団ホームページの利用で広報宣伝の拡充を図った。・月間催物案内を作成し、窓口等で配布、1階ロビー掲示板に掲示した。・センターホールにおいて電光掲示板による施設情報、催し物案内等を実施し、情報提供の充実に努めた。
利用支援計画 (サービスの向上)	<ul style="list-style-type: none">・「アドバンスBOX」(提案箱)を活用し、利用者の要望を施設運営に反映するよう努めた。・職員が各種研修に積極的に参加し、職員の資質向上を図った。・受付システムが苦手な利用者に、助言や援助を積極的に行った。・パソコン操作が苦手な方に「公共予約システム」の入力補助を行った。・利用者用コピー機を導入した。・コロナ対策のため、貸出し備品としてサーキュレータを用意し、ホールホワイエに空気清浄機を設置しサービス向上を図った。
自主事業計画	<ul style="list-style-type: none">・市民が気軽に文化芸術に触れる機会を提供できるよう、「子ども伝統芸能まつり」をはじめとする市民参加型事業や「東京フィルハーモニー交響楽団年末特別公演inさいたま」等の芸術鑑賞事業を実施した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

「市民の平等利用」・・・

公の施設の指定管理者として、特定団体に偏った利用許可を行うことなく、さいたま市文化会館条例・施行規則その他関係法令を遵守し、市民の平等かつ公平な利用に努めた。

「市民サービスの向上」・・・

アドバンスBOXや施設利用者へのアンケート調査などからの意見・要望を広く取り入れた。また、ホールの天井反射板やボーダーケーブルの交換修繕および空調機の修繕を実施し、利用者の利便性向上に努めた。

「利用促進」・・・

事業団情報誌「SaCLa」を毎月1万3千部発行し、各区役所・公共施設等に配布した。また、Facebookやメールマガジン等のネット媒体を活用し、利用促進に努めた。

「経費の削減」・・・

来館者への快適な環境を整えながら、窓に断熱フィルムを貼り電力使用量の抑制を図り経費の削減に努めた。

「適正な管理運営の確保」・・・

日常的な維持管理に関わる法令等を遵守し、迅速な修繕の対応ならびに法定点検を実施するなど、適切な管理運営の確保に努めた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さいたま市の指示に基づいた対応を徹底するとともに、利用者への柔軟な対応に努めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局文化部文化振興課)

総合評価 **(B)** ※A～D

1 項目別の評価

(1) 「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者の借り控え傾向があるが、情報誌の発行などの広報により利用促進に努めていた。

・アドバンスボックスの意見を取り入れ、市民サービスの向上に努めていた。

(2) 「経費の削減」に対する評価

・計画的かつ効率的な執行を図り、経費の節減に努めていた。

(3) 「適正な管理運営の確保」に対する評価

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定期的な消毒を行うなど適切な管理を行っており、また、利用変更などにも柔軟な対応を行っていた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理に努めること。